

西条まちなみ物語

あかがわら しらかべ じょうぞうまち
 ~ 赤瓦・白壁・赤レンガ煙突の織りなす醸造町 ~

Vol.1

東広島市では、伝統的な建造物が多数残っている西条酒蔵通り地区の町並みを未来に継承していくために、「伝統的建造物群保存地区制度」を導入することで保護し、活用していく取り組みを行っています。この制度は、歴史的な集落や町並みを保存し、活用するもので、それぞれの建造物を単なる「点」で保存するのではなく、建造物や町並みを周辺環境も含めた広い「面」として保存し、伝統的な景観を復元しようとするところに特徴があります。

今後、この「西条まちなみ物語」の中で、伝統的建造物群保存地区制度や町並みの価値、これからの展望などについてご紹介していきます。

今回の豆知識

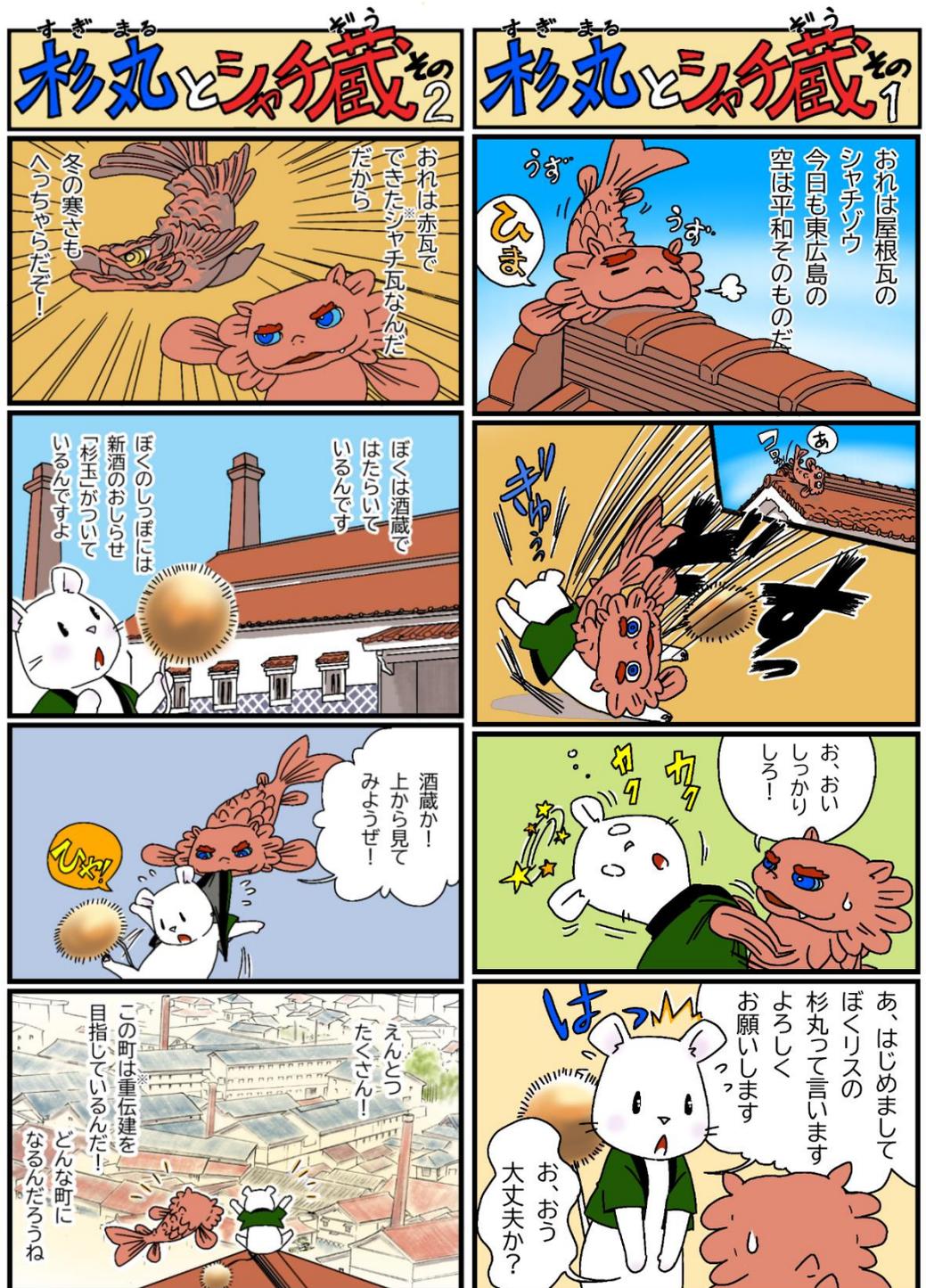
重伝建とは？ ※

「重要伝統的建造物群保存地区」の略で、市町村が定めた「伝統的建造物群保存地区」から、市町村の申し出によって、国が選定したものを指します。

シャチ瓦とは？ ※

屋根の上に載っているシャチは、お城の天守閣などに見られるシャチホコと同じで、建物の威厳を高めるとともに、火災除けのお守りとして設置されたものです。このシャチは、空想上の魚で、クジラの仲間のシャチとは別物です。

民家のシャチ瓦が普及するのは戦後のことですが、その分布は西条をはじめとする広島県内の赤瓦地域を中心としており、東広島のシンボルともいえるものなのです。



守りたいのはどの範囲？



赤い枠の範囲はどうやって決めたの？

次の条件で設定しました。

江戸時代の宿場町から近代の醸造町へと発展した町並みと伝統的建造物がまともに残る地区

その上で、次の特徴がある範囲で線引きを行ったものです。

- ① 宿場町として栄えた江戸時代の短冊形の地割と、田畑を造成した近代の醸造町の地割が良く残っていること
(※地割とは、町家や酒蔵、街路のために区画された土地のことを言います。)
- ② 伝統的建造物がまともに残っていること
- ③ 保存することで、宿場町から醸造町へと発展した酒蔵通り地区の特性が良く分かるエリアであること

詳しくはこちらからご覧ください。

